同窓会会報

発行
福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5－10
電話（522）2049
発行人　石井　都
印刷所　㈲三共印刷所

2013年、福島成蹊学園設立100周年

世代をつなぐ桃李の絆 100th Anniversary FUKUSHIMA SEIKEI

記念事業：高校南校舎設立など
記念式典：2013年10月31日

母校は「成蹊」と言える誇り

同窓会会長　石井　都（昭和41年度卒）

会員の皆様には、ますますご清祥のことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年六月の総会も前年同様遠方より足を運んでくださった方々や「毎年楽しみにしています」と嬉しいお言葉をかけて下さった方等、昭和十四年度から平成二十三年度卒業と幅広い年齢層の皆様が集い、和やかに過ごすことが出来ました。アトラクションでは全国ギターコンクール金賞受賞のギター部の清々しい演奏に心洗われる一時を過ごすことができました。顧問の遠藤明子先生、ギター部の皆様ありがとうございました。更なるご活躍をお祈り申し上げます。

百周年記念事業として会員名簿の作成を進めて参りましたが、皆様のご支援のもと八月に刊行することができました。厚く御礼申し上げます。

九月九日に開催された桃李祭に同窓会も一部屋お借りして、同窓生の作品や開校からの制服の展示、記念グッツの販売、大正から昭和六十年までの写真約二五〇枚を展示しました。セピア色の写真の中で一際目を引いたのが大正時代の「学ばせたい」と願う先生方と「学びたい」と通う女学生の熱い眼差しの数枚の写真でした。今年の百周年記念桃李祭には昭和六十年以降の写真を含め、更に充実した内容で展示する予定をしています。

百年の歴史を紐解くとき、脈々と受け継がれている桃李の精神のもと、それぞれの時代を生き、学ぶ同窓生の姿が目に浮んでまいりました。

母校はこれからも更に発展して参ります。同窓会としても力強く支援して行きたいと思います。同窓生の皆様、会の運営に、今まで以上のお力添えをお願い申し上げます。

世代をつなぐ桃李の絆

同窓会総会に出席して

久保　羯鼓（和子）
（昭和21年度卒）

今浦島の如く初めての総会出席。戦時中の私達は学校で爆弾を背負って敵陣に突っ込む南京袋の紐付けを奉仕。福島に一発爆弾投下ザァーと音。同級生三人で見上げ慌てて押入れに…。会場に居ながら走馬燈の様にあの時代を…。

華やかな席である故に往年のこの様な封印してたものが浮かび上がってきた様である。

福島成蹊高等学校は今や屈指の有名校頼もしい限りです。

三月で私は八十二才。今は俳句が”命“です。俳号を使わせて頂きました。

金子先生と共に

近野　恭子
（昭和21年度卒）

和気あいあいの会場が弾んだ会話に充ちあふれ、夢見心地の中で在校生のギター演奏に至福の時を過ごしました。

卒業したばかりの男女のほほえましいテーブルを見つめながら、ふと遠い日が甦りました。何もかも乏しかった戦後の日々を、まるで元気の源かと思う程柔道の受身で汗を流したり、弁論大会にでて情熱を燃やした学生時代の過ぎた歳月を思い出しました。

娘の恩師、遠藤和臣先生にもお逢い出来ました。

満ち足りた時を過し、高ぶる思いを胸に帰路に着きました。

ギター部演奏

瓶子　幾子
（昭和26年度卒）

「同窓会」読んで字の如し、この懐しい響き、同じ席で、同じ話題で、あの校舎をスミからスミまで、我を忘れて充分に語り会える同窓会っていいものですね。

会場では理事長様・校長先生のご挨拶　現在の生徒達の進学状況や邁進する成蹊の姿を沢山知ることができ感激してきました。

来年は創立百年記念行事があること等も話題になりました。この百年の頂点に巡り会える喜びを、ひしひしと感じて参りました。

鈴木　澄子
（昭和29年度卒）

私達卒業生も、今年喜寿をむかえました。何度か同窓会に出席させて頂いておりますが、何時も思う事は在校生の部活の様子を見させて頂き、感心しております。

私達は在学中は、学先生に三年間担任をして頂き想い出の多い学校生活になりました。学先生がお元気で御出席なさる時は、私達も出来る限り出席しようと思いますが何分にも私達も年老いておりますのでもしかすると今年が最後かも。今後同窓会のますますの発展をお祈り致しております。

菅原先生を囲んで

菊田先生と共に

佐久間　舜介
（平成23年度卒）

この度、同窓会総会に出席させていただき、大変充実した時間を過ごすことができました。私は当初緊張も感じていましたが、総会の雰囲気は温かく、次第にリラックスすることができました。また、多くの先生方、先輩方のお話などを通して、高校在籍時とは少し違った視点から成蹊高校に近づくことができたように感じ、嬉しく思いました。

このような総会にできる限り出席し、成蹊高校を通した繋がりを、より深いものにしていきたいと思ってます。

大石　裕菜
（平成23年度卒）

私は今回、同窓会総会に出席し、幅広い年齢層の卒業生の方々にお会いしたことにより、福島成蹊高校が長い歴史を築き上げてきたということを改めて感じました。私も同窓会幹事として、この歴史を受け継いでいくのだということを実感し、身の引き締まる思いでした、これからも福島成蹊高校の発展に貢献していきたいと思っています。

益田先生を囲んで

遠藤先生を囲んで

ご挨拶

理事長　鈴木信也

福島成蹊学園同窓生の皆様には、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

この度、福島成蹊学園の理事長を務めさせていただくことになりました鈴木信也でございます。就任にあたりお願いを含めご挨拶申し上げます。

本学園も今年、創立百周年を迎え、10月31日に記念式典開催の運びとなりました。創立当時の血の滲むような教師と生徒の努力。そこには希望に燃え、学びへの熱い想いが流れ、それを支える多くの福島市民のいることが百年の沿革から汲み取ることが出来ました。その先達の皆様の熱き想いが、今大きな流れとなり「成蹊」を県内随一の私学として有らしめています。

成蹊は、更なる発展を目指し、生徒の学習環境を整えるべく、南校舎の新築を計画しておりますが、皆様のご理解・ご協力なしには成し得ませんので、物心にわたるご援助を切にお願い申し上げます。

同窓会のますますのご発展を心からご祈念申し上げ、挨拶といたします。

世代をつないだ桃李祭

校長　本田哲朗

同窓会の皆様には、常日頃多大なるご支援を賜り、こころから御礼を申し上げます。今回は9月に開催されました桃李祭について触れさせて戴きます。来る百周年に繋げると言う意味もあり、開学当時から今日までの写真や、制服実物の展示などは特に目を引くものでした。加えて同窓会諸氏に因る創作作品の展示に於いても、多種多彩なものが展示され、思わず釘付けになるレベルのものも多く、作品を通じ様々な場面で活躍されている様子を実感致しました。全体的には、在校生では伝えきれないこれまでに辿った歴史を彷彿させて戴いたと思っています。百周年記念の『世代をつかぐ…』をテーマに実施しましたが、中学生・高校生・桃李の会・同窓会の皆様が一体になり、99年の歴史を感じる大変意義深いものになったと思います。本当にありがとうございました。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

1．収入金額 2,137,835　2．支出金額 2,055,055　3．差引金額 82,780

収入の部　（単位：円）

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
会費	1,412,000	1,388,000	△24,000	4,000×347人
預金利子	1,000	141	△859	普通預金利子
雑収入	5,000	310,000	305,000	総会御芳志・会費・寄附
繰越金	439,694	439,694	0	前年度より繰越
合計	1,857,694	2,137,835	280,141	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
事業費	500,000	695,363	195,363	総会等
会議費	100,000	37,609	△62,391	役員会、幹事会
会報発行費	200,000	190,575	△9,425	会報第18号
協力費	400,000	342,680	△57,320	全国大会激励、広告協賛等
交誼費	50,000	25,286	△24,714	慶弔費
通信費	200,000	144,026	△55,974	切手、名簿補助等
旅費	5,000	0	△5,000	
事務費	150,000	419,516	269,516	印刷、人件費等
特別積立費	200,000	200,000	0	基金積立
予備費	52,694	0	△52,694	
合計	1,857,694	2,055,055	197,361	

特別積立金（平成24年3月31日現在）　12,764,494円　運営協力費（平成24年3月31日現在）173,360円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます

平成24年4月25日　監事　杉内　文子　木山　律子

会務報告

平成23年	
4月 8日	入学式出席
9日	定例役員会
	会報17号発送
25日	会計監査
5月14日	定例役員会
6月12日	墓参(初代・4代校長)定例役員会
19日	同窓会総会開催
7月 9日	定例役員会・総会反省会
9月10日	定例役員会
27日	会報18号編集会議
10月 8日	定例役員会
11月12日	定例役員会
12月13日	会報18号編集会議
17日	定例役員会
平成24年	
1月14日	定例役員会
24日	会報18号編集会議
27日	新幹事顔合わせ
2月 4日	定例役員会
29日	同窓会入会式
3月 1日	卒業式

桃李祭 同窓会ブース 世代をつなぐミュージアム

開校から昭和60年までの写真
校舎授業風景など

制服の変遷
大正～昭和まで

9月とは思えぬ暑さの中、お運び下さった皆様ありがとうございました。

記念グッツの売れ行きも好調でした。同窓会室では金子先生を囲み、話題は学生時代の事で大いに盛り上がりました。

今年の桃李祭は、さらに中身を濃く充実した内容を企画し、多くの同窓生の来校を役員一同まつております。

創立100周年記念

あなたにとっての母校は？

女子だけのクラスは、とっても楽しかったです。
あっという間の3年間でした。
もう1回、高校生に戻りたいです!!
麻紀

たくさんの思い出と「ありがとう」がつまっている大切な場所ですw
H22年度卒 菊地真海

人生の宝です。
益田幸子 S28

"桃李の絆"で素晴らしい福島を！
先生、仲間にありがとう！
S48. 小野京子

素晴らしい出逢いと素敵な時間♡
60年度卒 須賀加代子

成蹊は生活の励みに！
S26 瓶子鉄子

母校は成蹊と云えるよろこび
S25 多田マツ

創立100周年を迎える母校をたいへん誇りに思います。
100年の時間の一刻に、自分が存在（いた）こと。
そして、現在ある自分。
あらためて、学べたしあわせを感じます。
今後とも、成蹊高等学校のさらなる発展を祈念いたします。
武井華子

たくさんの楽しい思い出のつまった場所です♥
H22年度卒 小池美咲

BEST FRIEND
・高橋知子
・斎藤宏美
・鈴木悦子
・赤間美香
・磯美津恵
・白岩恵理子
昭和59年度卒

良き先生、良き友との出会いでした。
ありがとうございました。
S48. 鈴木千恵子

原点
S58年度卒 木山律子

毎日友達に会いに学校へ…
楽しい3年間でした。
S60 丹治千賀子

とっても楽しい女子高校生活3年間でした。
S54年度卒 杉内文子

笑って、笑って走って…
青春でした。
60年度卒 関美由紀

とても楽しい高校生活でした。最高の思い出がたくさんあります。
H2年卒 西山 [illegible]
親子で成蹊を卒業しました ありがとうございました
松崎 [illegible]

創立100周年おめでとうございます。
卒業後は、通勤のたびに母校を目にしています。今では仕事を通して成蹊生の皆さんとふれあう機会があり、さらに身近に感じています。今後も、将来の夢をたくさん持った後輩たちとの出会いを楽しみに、前向きに仕事に取り組みたいと思います。
今後も、さらなる母校の発展を願っています。
大槻芳恵

勉強と珠算の毎日で大変だった分良き想い出です
S41 竹藤容子

素晴らしき出会い
仲間にありがとう！
S48. 渡邉八千代

いろんなことがあった思い出の場所です。
H16年 [illegible]

"輪"
人と人とのつながり
S47年度卒 宍戸ひろみ

二年生の時
全国大会香川県の丸亀市の卓球大会も良い思い出です。
S30 川上きイ

創立100周年おめでとうございます。
成蹊を卒業してから15年経ちますが、つい最近のように3年間の出来事を鮮明に覚えています。
勉強と部活を3年間両立して培った忍耐力、経験が日々の生活、仕事に生かされていると思います。
これからも成蹊高校のますますの発展をお祈り申し上げます。
三浦麻美

S23度卒
64年ぶりでなつかしの母校に足をふみ入れてなつかしいと言うよりかはっておどきとは他の人達がいきいきしているので素晴らしさにおどろいています

大人になって分かった母校の素晴らしさ！
先生ありがとうございます。
S48 平井よし子

良かったことも悪かったこともいろんなことがあった大切な場所です。
H22年度卒 関根あずさ

私を変えてくれた最高の学校です♪
平成14年卒 羽田朋子

創立100周年おめでとうございます
卒業してから早9年…。今でも先生方との思い出が思い浮かびます。進路に向けて、一生懸命取り組んで下さった先生方にとても感謝しています。夢だった職業に就くことができ、とても幸せです!! 夢に向かってGO!!
阿部志緒里

この会場にて燭の中きらめく言の葉
薔薇真赤
S21 久保鶴數

私の青春でした
S21 近野恭子

充実した時間を送ることができ、人間的にも大きく成長できた3年間でした。私が経験し、学んだものはとても大きく、これからの人生に欠かせないものです。
成蹊は私にとって、これからも大切な場所であると思っています。
平成23年度卒 佐久間舜介

桃李祭のたびに大好きな先生に会える場所…
何かあるたびに心が戻る場所…
キャ～♪と先生に会える場所…
菊地信子
三浦陽子
村上裕子
早坂由紀子
昭和58年度卒

花のいのちは短くて
人のいのちもはかなくて
されどそれが友よ
ほんとの宝のあるかぎり
あしたに燃えましょう
夕辺にも
鈴木美沙 S14卒

いい友とであえた場所でした
60年度卒 佐藤由里

アッという間の三年間でしたが、やはり、この学校卒業したことがほこりです。
S31 二瓶良子

100周年おめでとうございます。
ますますの発展をお祈りいたします。
S60 伊藤浩恵

最高の友達が出来ました。
H4卒3-6 澤田あけみ [illegible]

成蹊は私を大きく成長させてくれました。
今、充実した大学生活を送れているのも、成蹊のおかげだと強く感じています。
平成23年度卒 大石裕菜

100周年おめでとうございます。
将来の夢に向かって勉強した、すばらしい環境が成蹊にはありました。桃李祭や沖縄修学旅行、宿泊学習など楽しい思い出がたくさんあります。
成蹊高校これからも夢に向かってGO!!
竹野裕美

福島成蹊高校で過ごした3年間は様々な活動を通して素晴らしい経験をたくさんすることができました。全校生と共にひとつのことを成し遂げることができたときの喜びやみんなをまとめていくことの大変さ…成蹊で過ごし経験したことすべてをこれからの生活にいかしていきたいです。
平成23年度卒 杉原綾奈

ギター演奏感動しました。うるうる 35年度卒
磯部佳子

早いもので卒業して52年がたちました。
友達4人組は年1回泊りに行ってます。
35年度卒 五十嵐キク子

紺の制服が思い出されます。
S33. 八幡公子

楽しかった。
62年度卒 浅川輝美

思い出多い高校生活でした。
校訓は心の中にいつも
S50 砂本和子

（全国大会第三位 東北大会優勝）
ラケットをにぎって卓球を追いかけた三年間デシタ
S30 松本アイ子

あっという間の三年間でした
また高校に戻りたい
S38 井浦幸子

成蹊は第一回目の青春です
S39年卒 増沢ナミ

部活中心の三年間でした。人としての礎を育成していただきました。感謝です!!
昭和47年度卒 竹中綾子

私にとって母校は自分らしくいれる場所でした。
成蹊で学んだ3年間は今の私にとって大切な思い出です。
H4 吉田幸恵

家政科で習ったこととても役に立っています。娘もこの高校に入れたいです。恵子

最高に楽しかった高校生活でした。今でも気持ちはあの時のままです!! 高野さやか

とても楽しかったです!!
また、この高校にかよいたいです!!
S58卒. 今野玖子

創立100周年記念 [illegible]
香野秋子

楽しい青春時代を送ることが出来たことに感謝致します
S35年 齋藤伶子

私も娘も成蹊の卒業生です。
大変お世話になりました。ありがとうございます。
成蹊の制服大スキです!!
S57年度卒 梅津明美（旧姓加藤）

かけがえのない時間を過ごした第2の我が家☺
今の私があるのは成蹊のおかげです
H17年度卒 吉田絵美

とても、大切な青春の1ページです
S39年卒 中島千代

すばらしいギター嬉しいです
35年卒業 椿地瑛子

同総会に参加して卒業以来の友達にあえて青春にもどった気持です
35年度卒 東口明美

桃李の精神は私の大好きな言葉。妻として母として楽しく過ごせるのも充実した3年間があってのこと。
ありがとうございました。
H4年度卒 [illegible]

今の私が在る糧となる大切な時間を過ごした場所。
S56卒 阿部未美

成蹊は私の誇りです
S21年卒業 丹野リン

成蹊で過ごした3年間はとてもすばらしい思い出です。
菅家菜子 H18年度卒

3年間テニス部中心で過ごしました。
精神的に鍛えられ成長しました。
娘二人もお世話になり、感謝です。
S53年卒 山科直枝

三年生の時
全国大会に香川県の卓球大会が私にとって良き思い出となっています
S30 後藤康子

毎日女子会のできる場所！
ふり返ってみるととても貴重な3年間です。
平成9年度卒 矢吹はる香

母校は心のふる里です
S42卒 高野豊子

100周年おめでとうございます。
60年生きて来た道の標です。
三年間でしたが思い出です。
S41 安田静子

成蹊で出会った友人達とは今でも月に一度女子会をしています。そして、今、成蹊で働かせてもらっています。
今いる私は、成蹊生として入学した時から始まっているんだと感じます。私にとって、成蹊は出発点です。
学内同窓生（平成13年度卒）

心の拠り所です。
H3年度3-3 服部裕美

入学できたこと、親に感謝！
小林征子 S35年度卒

青春の思いで一杯。同級生にお会いしたいです。
伊藤文子 S36年度卒

母校の校歌と校訓は、ほこりです。現在の母校が、すばらしく発展していることも、大変嬉しく、長生きしていてよかったと思います。ますますの発展を!!
小野清子 S36年度卒

三年生の時卓球で全国大会に行ったのが三年間の最高の思い出です
S32 大江正子

クラブ一すじ
仲間がたくさんできました。
ありがとう
昭和49年度卒 本田文子

高校時代、とても楽しかったです
一生の思い出です 遠藤

創立100周年おめでとうございます。
母と子共におせ話になりました。
校訓は永遠に心にのこってます。
H18年度卒 大塚愛

最も濃く、最も充実していた3年間。今の私を作ってくれたのは成蹊です。
学内同窓生（平成18年度卒）
穴澤あすか

沢山の信頼出来る友と出逢わせてくれた場所。
人生の中で最も充実した時間です。
S55年卒 菊地美和子

母校は成蹊と言える誇りなり……
私も成蹊の卒業生でほんとうに良かったと思っています。
S55年卒 渡辺美喜子

楽しかった桃李の学び舎
羽田きくの S40年度卒
山岡明子
稲村吉江

人生の中でかえがえのない思い出の場所
H22年度卒 矢野加奈子

私の青春の一ページ
高校時代の三年間は大切な宝物がいっぱい
人生の支えです
大関昭子
S.48年度卒業

学生時代は、青春の宝物です！
素晴しい思い出をありがとうございます。
感謝の気持ちで一杯です。S.50 木村孝子

♡感謝
S49年度卒
丹野清子♡

今の自分がいるのは成蹊のおかげです。
たぶん人生で1番勉強した3年間でした。楽しいことも辛いことも、いろいろありましたが、成蹊が母校で本当によかったです。
学内同窓生（平成17年度卒）
菅野愛

長い間胸のつかえでしたが昨年から皆様にお会いした後輩の姿を見て私の母校ですと言える様になりました ありがとうございます
S41年卒 蒲地千律

何年過ってもいくつになっても高校時代は私にとって青春です
S41年卒 阿部則子

百周年記念委員会報告

式典

山科直枝（昭和53年度卒）

通算五回の委員会を開催し内容は
一、記念講演者の選定
二、記念式典・祝賀会等の企画、運営に関する事等を検討し会場、講演者を決定しました。今後は、具体的に内容を事務局と連携し、検討して行く予定です。

記念誌

丹野清子（昭和49年度卒）

創立時から百周年までの歩みを実証的に記録するという基本方針に従い編集会議を重ねております。特別寄稿、沿革史、思い出、抱負、資料編、記念式典等の内容です。平成26年1月発行を目標にしております。

記念事業

羽田きくの（昭和40年度卒）

数回の会議を持ち、検討の結果、次の3点を実施することになりました。
○PR事業（校名看板設置）
○校訓碑の移設とタイムカプセル埋設（開封百二十周年）
○記念表彰（4世代及び4兄弟姉妹の卒業・在籍）

桃李祭

本田文子（昭和47年度卒）

百周年記念桃李祭と位置付け、その企画、立案と実施に基づき、学校、学園、桃李の会、同窓会との連係を密に取りくんでおります。
今年は、百周年につながる桃李祭を計画中です。

募金

小林征子（昭和35年度卒）

平成24年1月第1回実行委員会が開催されました。役員選出、募金目標の設定等を話し合い、その後7月、8月と会を重ね、募金の方法、趣意書作成、募金活動開始予定と進んでおります。御協力よろしくお願い致します。

昭和14年度卒業アルバムより

平成二十四年度進路状況

進路指導部長　二瓶　貴之

今年度の進路状況は、震災と長引く経済不況の影響で、全国的に地元志向、安全志向の強い受験となっております。また、系統別では就職内定率の低迷により、就職に有利といわれる理系や資格取得系統がここ数年高い人気を維持しており、「手に職をつける」ことのできる進学先を求める傾向が強い状況です。就職につきましては、全国的には厳しい状況が続いておりますが、県内では少しずつではありますが、改善の兆しが見られております。このような状況下の中で、本校の進路状況は進学、就職共に例年並みに推移しておりますが、中でも県立医大医学部医学科合格や六年連続就職内定率百％を達成することができましたことは大変嬉しく喜ばしい事であり、百周年に花を添えてくれました。今後は、三月中旬まで大学の一般入試が続いてまいります。生徒諸君の三年間の努力の結晶が結実し、合格の二文字を掴み志望進路実現ができますよう今後も教職員一同精一杯支援してまいります。

平成24年度 進路状況　平成25年2月14日現在（一部の学校のみ記載）

国公立大	9名	福島県立医大医学部、宇都宮大、山形大3名、福島大4名
文部科学省管轄外の大学校等	26名	防衛大学校12名、航空保安大学校3名、防衛医科大学校附属高等看護学院5名、海上保安学校6名
私立大	293名	成蹊大、専修大、駒澤大、日本大、武蔵野大、玉川大、東洋大、北里大、東京都市大、大東文化大、獨協大、帝京大、神奈川大、東北学院大、東北福祉大、盛岡大、国際医療福祉大、文教大、白鴎大、日本歯科大、産業能率大、聖徳大、杏林大、京都橘大、城西大、関東学院大、新潟医療福祉大、千葉工業大、流通経済大、宮城学院女子大、北海道医療大、群馬医療福祉大、東北文化学園大、つくば国際大、健康科学大、岩手医科大、城西国際大、いわき明星大、奥羽大　ほか
短期大学	22名	桜の聖母短大7名、福島学院大短大部4名、郡山女子大短大部1名、仙台青葉短大3名、埼玉女子短大1名、ほか
看護医療専門学校	8名	福島県立総合衛生学院1名、大原看護専門学校2名、仁愛看護福祉専門学校、福島看護専門学校2名、ほか
専門学校	62名	郡山情報ビジネス専門学校4名、国際ビューティーファッション専門学校3名、東北電子専門学校2名、ほか
就職内定者	12名	自衛官候補生、佐川急便、アイテック（株）、（株）ニッテク、福島中央病院、（株）ハシドラック、ほか

平成23年度 合格状況　（一部の学校のみ記載）

国公立大	68名	東京工業大2名、東北大3名、お茶の水女子大、横浜国立大、東京農工大、千葉大、電気通信大5名、新潟大4名、宇都宮大、茨城大2名、富山大、山梨大、弘前大、山形大5名、秋田大、福島大25名、琉球大、高崎経済大2名、宮城大、福島県立医大看護学部2名、会津大4名、岩手県立大、秋田県立大、釧路公立大
文部科学省管轄外の大学校等	31名	防衛大学校13名、航空保安大学校10名、海上保安大学校1名、防衛医科大高等看護学院3名、海上保安学校4名
私立大	575名	慶應義塾大、早稲田大、東京理科大、立教大、明治大、中央大、法政大、同志社大、立命館大、津田塾大、成蹊大、星薬科大、明治薬科大、東京女子大、日本女子大、東京農大、武蔵野大、明治学院大、國學院大、日本大、東洋大、駒沢大、専修大　ほか
短期大学	32名	福島学院大短大部10名、桜の聖母短大10名、立教女学院短大、上智短大、埼玉医科大短大部、県立米沢女子短大、ほか
看護医療専門学校	24名	福島県立総合衛生学院6名、大原看護専門学校5名、福島看護専門学校4名、ポラリス保健看護学院、東京都済生会看護専門学校、ほか
専門学校	54名	仙台ヘアメイク専門学校、仙台ビューティーアート専門学校、東京法律専門学校、仙台大原簿記公務員専門学区、ほか
就職内定者	10名	福島製鋼（株）、日立オートモーティブシステムズ（株）、（株）ダイユーエイト、（株）ニッテク、キョウワプロテック（株）、ほか

創立100周年記念
オリジナルグッズ

ストラップ
500円（税込）
限定 各1,000枚

●福島成蹊高等学校
現制服冬服キュービー
●福島成蹊女子高校
旧制服ベストキュービー

マフラータオル
700円（税込）
限定 500枚

好評につき、残り少なくなりました。
お早めに事務局にてお求め下さい

キャンパスライフ

釧路公立大学　経済学部

小島　久明
（平成23年度卒）

自分を見つめる、本当に夢を追いかけることのできる年月。それが大学だと思う。誰もが楽しめるとは限らないが出来るだけ自分の信じることを行い、大切な友人や趣味に一生懸命に生活している。高校生活が今の自分を形作ってくれたことに感謝して日々過しており、今という時間を大切に大学を存分に楽しむつもりである。

お茶の水女子大学　理学部

古川ひとみ
（平成23年度卒）

私はお茶の水女子大学理学部情報科学科で勉学に励んでおります。とても真面目な人が多く、その雰囲気に助けられながら私も一生懸命勉強を続けております。またサークルにも入り、他大学との交流も深めつつ日々を楽しんでいます。これから私はプログラミングをもっと専門的なものにすることとサークルの仕事をがんばっていきたいと思います。

サッカー女子U―16代表監督就任

高倉　麻子さん

（昭和61年度卒）

各年代の女子ワールドカップ（W杯）につながる日本代表では初の女性監督となり、U―17（17歳以下）W杯を目指すことになりました。本会としても跨るべき快挙として祝福すると共に、高倉さんの活躍を期待するものです。

高倉さんは2011年に日本サッカー協会最高ランクの指導者資格公認S級を取得した3人の女性指導者でもあります。昨年はアジア・サッカー連盟の女子部門年間最優秀コーチに選出にされました。また、高校時代から全日本代表選手として活躍し、1996年アトランタ・オリンピックにも出場しています。

同窓生の喜びとして、高倉さんの活躍を祈ると共に、本会としても応援して行きたいと思います。

高校時代の高倉さん

在校生の活動状況について

現在本校には、16の文化系クラブと12の運動系クラブがあります。今回は、最近創部されました部活動を中心に、活動状況をお知らせします。

また、その他のクラブも活発に活動しております。

サッカー部

顧　問　古賀　雅
　　甚野　弘輝

サッカー部は、『挑戦・誇り・感謝』というチームスローガンを掲げ、県大会で勝つことを目標に日々練習に励んでいます。

今年で創部三年目のまだまだ歴史が浅いチームではありますが、学校生活と部活動の両立を図り、高校生活を通じて人間的に成長できる部活動を目指しています。

チーム目標を体現できる集団になれれば、サッカーの技術はもちろん、人間的にも成長し、周りから応援されるチームになると信じて活動しています。

コンピュータ部

顧　問　増子　裕一

現在2年生8名・1年生5名（男子8名・女子5名）の13名で活動しています。活動日は月火金の週3日間ですが、検定前や大会前は毎日練習しています。

主に情報処理検定やワープロ検定等の1級取得と、県高校ワープロ競技大会の上位入賞が目標です。今年は1級に3名が合格しました。

また3学期はふれあいコンサートの記録係としてカメラやビデオの撮影・編集と、記録集の作成にも力を発揮しています。新入生歓迎会や桃李祭ではスライド上映をしています。

美術部

顧　問　加藤　貴義
　　豊田　明愛

美術部は、ひとりひとりが意欲と目標を持ち、作品制作に取り組んでおります。人数はそんなに多くはないですが、部員同士仲良くいきいき活動しています。制作内容は油絵や水彩画、シルクスクリーンなどの絵画制作や七宝焼などの小物を制作しています。部員が創りたいと思うものが創れる環境を目指しています。

作品発表は県美術展や県高校美術展などへの出品、成蹊展、桃李祭などの学校行事などで積極的に発表しています。

バドミントン部

顧　問　木村　秀浩
　　中村　善之

男子20名、女子12名で日々練習に励んでいます。

男女ともに県大会に出場常連チームになることが目標です。一つでも多くの試合に勝つことそのために、誰にでもできることを、だれにもできないくらいやり込み、やり続ける。これは、弱者が強者に挑む絶対条件です。

かわいげのある『いい人間』のチーム、思わず応援したくなるチームを目指して活動しています。

平成5年度 卒業アルバムより

世代をつなぐ桃李の絆

100th Anniversary

福島成蹊学園

昭和38年度 卒業アルバムより

百年は次への一歩

福島成蹊学園参事　金子昭七

同窓生の皆様には何かとご支援を賜り、まことにありがとうございます。

いよいよ福島成蹊学園創立百周年の年を迎えました。その沿革をたどりますと、教育に当たった先人の真摯な想いと生徒達のたゆまぬ努力が相俟って、現在の成蹊を創り上げ、会員2万5千名を越える大同窓会へと発展したものと思われます。

創立以来、女子教育に90年間情熱を傾け、地域に絶大なる支持を得て参りましたが、成蹊の持つ力を幅広く貢献すべく共学校となり9年を経過しました。「成蹊」の名は県内外に更に広まり、その存在は不動のものとなっています。

創立百周年は百一年へのステップであり、百五十年・二百年と続くための礎となる年です。この意義ある年を多くの同窓生の皆様とお祝いできることは、まことに嬉しい限りです。「世代をつなぐ桃李の絆」がこの百周年を機に一層強く結ばれますことを、心からご祈念申し上げます。

新幹事

一組	長島	主亮
二組	渡邉	佳奈子
二組	髙畑	幸樹
三組	仲江	拓真
三組	永田	啓介
三組	三浦	悠
四組	五十嵐	悠貴
四組	齋藤	佑亮
五組	小野	友梨奈
五組	吉田	泰規
六組	清野	容平
六組	渡邉	恭子
七組	伊藤	あゆみ
七組	髙橋	伴明
八組	氏家	理奈
八組	古農	優也
九組	平井	亜美
九組	吉田	慎
十組	吾妻	真
十組	髙野	馬
十一組	丹治	佳
十一組	丹野	拓理碧

事務局だより

会報19号は昭和26・36・46・56・平成4・9・14年度卒業の皆様に送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使わせていただいております。引き続きご協力お願いいたします。百周年記念会員名簿・記念グッズの販売もしております。ご購入の協力をお願いいたします。学園では百周年記念事業として4世代及び4兄弟姉妹卒業・在籍者の表彰を企画しておりますので、該当者の情報を事務局までお知らせ下さい。

クラス会開催の場合は、名簿を事務局に提出をお願いします。（通信費として二千円の補助をいたします。）

お知らせ

福島成蹊学園理事長が替わりました。平成25年1月31日㈭近野輝雄理事長が勇退され新理事長に鈴木信也氏が就任されました。

平成25年度 総会のお知らせ

- 日　時／平成25年6月23日（日）午前10時30分～
- 場　所／ホテル福島グリーンパレス
- 内　容／総会　懇親会（アトラクション・吹奏楽部）
- 会　費／3,000円
- 問合わせ先／福島成蹊高等学校
  同窓会事務局 TEL 024-522-2049

◆退職される先生方◆

教諭　遠藤公士
教諭　佐藤浩二
教諭　村上博
教諭　石川徹

◆敬弔関係◆

元副会長　木下玲子

編集後記

記念すべき百周年会報第19号を発行することが出来ました。どうぞ、ご一読いただき、ご意見をお聞かせ下さい。